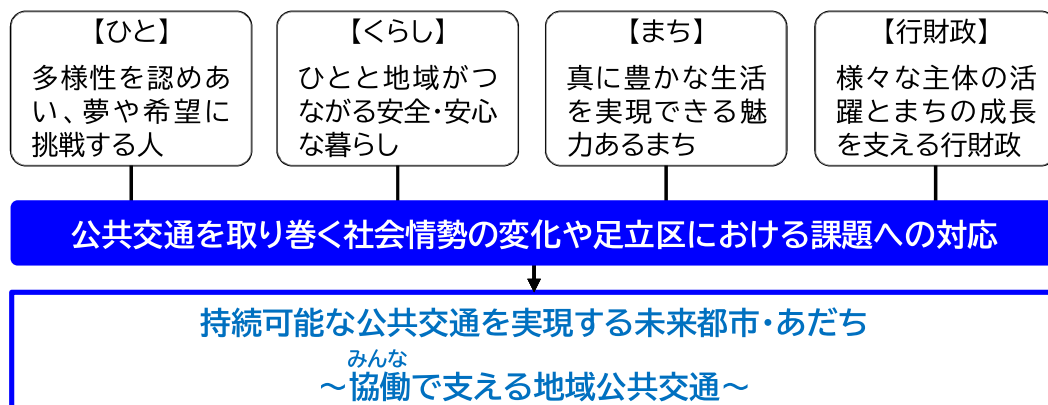


4 目指すべき将来像と計画の方針・目標

4.1 目指すべき将来像

足立区基本構想では、「協創力」によって呼び起こされた新たな「活力」が、さらなる「進化」を生み出す、プラスのスパイラルによって持続可能なまちを築き上げるため、30年後を見据えて、「協創力でつくる 活力にあふれ 進化し続ける ひと・まち 足立」という将来像を掲げています。

公共交通を取り巻く社会情勢の変化や足立区における課題へ対応することや、基本構想の将来像実現のために掲げられている「ひと」「くらし」「まち」「行財政」の4つの視点を公共交通の側面から支えるために、本計画が目指すべき将来像は「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち～^{みんな}協働で支える地域公共交通～」とします。



4.2 基本方針

上記で掲げた将来像の達成に向け、本計画の基本方針は以下のとおりとします。

基本方針1: 豊かな暮らしを実現する公共交通ネットワークの構築

- 公共交通の利便性・安全性を高め、誰もが安全に安心して移動ができる公共交通ネットワークの構築

基本方針2: 行政・交通事業者・区民の協働による持続可能な交通手段の確保

- 公共交通ネットワークの構築にあたっては、行政・交通事業者・区民など、公共交通に携わる関係者それぞれが協働して課題解決に向けて主体的に取り組み、持続可能な交通手段の確保を目指す

基本方針3: 新技術等を活用した多様な交通サービスの実現

- クリーンエネルギーを活用したモビリティや自動運転車の導入も視野に、多様化する区民の移動ニーズを応えられる交通サービスの実現

4.3 計画目標

区の地域公共交通の 3 つの基本方針を踏まえ、区が目指すべき地域公共交通の計画目標を以下のように定めました。

目標1: 利便性・安全性の高い誰もが快適に利用できる交通環境づくり

- シームレスな移動の実現に向けて、勤労世代をはじめ、こどもから高齢者まで誰もが安全・安心して快適に利用できる交通環境が整備されている。

目標2: 持続性のある公共交通や多様な交通サービスの展開

- 行政・交通事業者・区民の協働により、持続可能な公共交通が実現しているとともに、AI等の新技術を活用した多様な交通サービスと共存している。

目標3: 将来にわたる公共交通の多様な担い手確保に向けた土台づくり

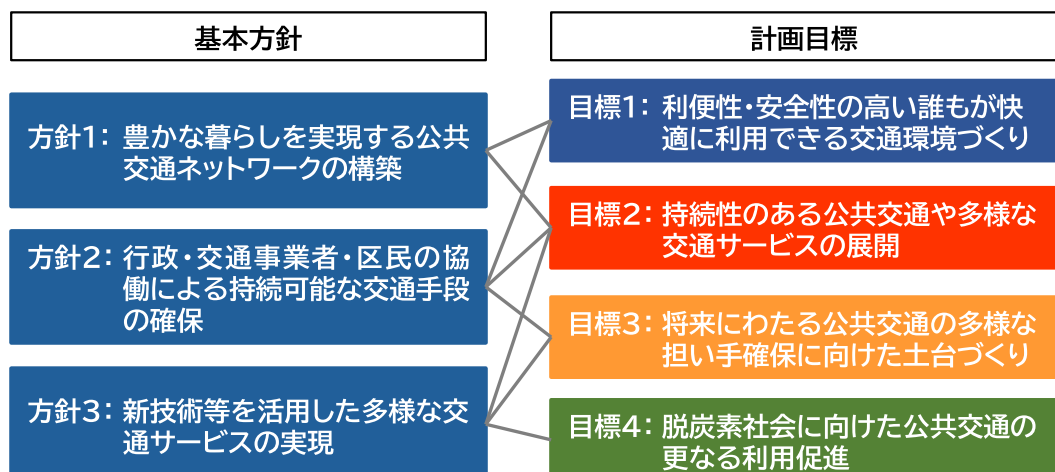
- 持続可能な交通手段の確保に向けた地域の多様な担い手の確保など、将来に渡って地域全体で公共交通を支える取組みを実施している。

目標4: 脱炭素社会に向けた公共交通の更なる利用促進

- 区民の日常的な移動に公共交通や多様な交通サービスが浸透し、環境にやさしい低炭素な移動手段への転換や理解が進んでいる。

4.4 計画目標の体系

本計画の 3 つの基本方針と 4 つの計画目標との関係は以下のとおりです。



4.5 関係者の役割

交通政策基本法及び地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、国の基本方針等に基づき、本計画での目指すべき将来像に向けた関係者の役割は以下のとおりとします。

区役割



- 地域の実情に応じた、地域にとって最適な公共交通の在り方について、公共交通事業者等や地域の関係者と協力し、相互に密接な連携を図りつつ、主体的に公共交通の持続可能な提供の確保に努める。
- 区民への公共交通に関する情報発信等を通じて、区民の理解を深め、協力を得るように努める。

公共交通事業者の役割



- 自らまたは他の公共交通事業者と連携して、提供する公共交通の質の向上に努める。
- 複数事業者間の路線、運賃、運行ダイヤなどの調整を図り、持続可能な公共交通の提供の確保に努める。
- 利用を容易にするための情報の提供やその充実に努める。

区民の役割



- 区や公共交通事業者が実施する取組みに協力するよう努める。
- 公共交通サービスを利用するという受け身の立場だけでなく、地域の関係者の一員として、主体的に持続可能な公共交通の確保に向けた検討に参加する。
- 公共交通の積極的な利用や区民間における利用促進の意識の醸成に努める。

4.6 計画目標ごとの取組み内容

本計画の4つの計画目標を達成するために、今後、以下に示す18の取組みを実施していきます。

取組み		計画目標			
		1	2	3	4
取組 1	乗換利便性の向上	○	-	-	-
取組 2	待合環境の整備	○	-	-	-
取組 3	交通施設・車両のバリアフリー化	○	-	-	-
取組 4	鉄道の新線・延伸	○	-	-	-
取組 5	鉄道の混雑緩和	○	-	-	-
取組 6	路線情報等の利活用	○	-	-	-
取組 7	デジタル情報機器の導入・多言語対応	○	○	-	-
取組 8	地域が主体となった地域内交通の導入支援	○	○	○	-
取組 9	はるかぜ路線維持事業	○	○	-	○
取組 10	新たなモビリティや移動サービスの導入	-	○	-	-
取組 11	自動運転・AI 配車の導入	-	○	○	-
取組 12	新技術導入による省人化	-	-	○	-
取組 13	公共交通従事者の待遇改善	-	-	○	-
取組 14	職場環境改善	-	-	○	-
取組 15	公共交通従事者研修の実施	-	-	○	-
取組 16	子ども向け広報啓発事業	-	-	○	○
取組 17	低炭素型車両の導入	-	-	-	○
取組 18	モビリティ・マネジメント	-	-	-	○